

脳循環研究室年報

①研究室の動向（平成 20 年 1 月～12 月）

平成 20 年の最も主要な人事は、平成 3 年から 17 年間研究室主任を務めてこられた井林雪郎先生（S54）が誠愛リハビリテーション病院の院長として転出されたことである。昭和 56 年に井林先生が入研された頃はわずか 9 名の小さな研究室であった脳循環研究室が、現在では 80 名を超える大所帯になり、それぞれのメンバーは脳卒中診療と研究の各分野で活躍している。これまでの井林先生のご指導に心より感謝したい。一方、4 月には吾郷（H5）がニュージャージー医科歯科大学での留学を終えて、臨床助教として帰学した。さらに、平成 18 年卒業の 3 名が入研し、三本木は聖マリア病院、金澤は九州医療センター、山元は新日鐵八幡記念病院で脳卒中専門医としての初期臨床修練を開始した。黒田（H8）は吾郷の後任としてニュージャージー医科歯科大学へ留学し、久留島（H9）がジョーンズ・ホプキンス大学での留学を終えて帰国し 9 月より吉塚林病院での勤務を開始した。萩原（H11）が大学院を卒業して学位を取得し誠愛リハビリテーション病院勤務をスタートし、また、前田（H16）は国立循環器病センターのレジデントとなり、石束（H17）が大学院に進学した。なお、脳神経外科大学院生有村公一先生（H15）が当研究室において基礎研究をスタートした。

臨床研究では、平成 19 年 6 月に開始した福岡脳卒中データベース（Fukuoka Stroke Registry; FSR）の症例登録が順調に進み、平成 20 年 12 月末で前向き症例 1,666 例、後ろ向き症例 2,001 例の登録を行っている。得られたデータを解析し、平成 21 年の日本脳卒中学会総会に 20 題、日本神経学会総会に 5 題の演題が採択された。付随して行っている脳梗塞におけるバイオマーカー探索、解析に関する研究（Research for Biomarkers in Ischemic Stroke; REBIOS）の登録も進み、既知のマーカーに関する興味ある知見が得られつつある。また、基礎研究では、鴨打（S62）と吾郷を中心として、脳血管周皮細胞（ペリサイト）の機能解析研究を推進している。ペリサイトは脳の毛細血管や細静脈を取り囲むように存在する細胞であり、微小循環調節や血液脳関門の維持に重要な役割を担うとともに、脳虚血時には血管再生において重要な役割を担うことが推測されている。分子生物学的手法とマウスやラットを用いた脳虚血モデルを駆使しながら脳血管ペリサイトを用いて低酸素や低グルコース負荷の際に起こる様々な現象の解明を行っている。

(文責：北園孝成)

②学生講義（平成20年4月～平成21年2月）

臨床総括講義（症候別問題解決講義）

H20.9.9 運動麻痺・筋力低下 5年 大星博明

医学総合講義

H20.12.4（老年病学）老年者の特徴と疫学、脳血管障害 4年 北園孝成

臨床医学群 基本実習講義

H20.10.1 全身と頭頸部の診察 4年 北園孝成

臨床医学群(神経)

平成21.1.8 脳血管障害(1) 疫学と総論 3年 北園孝成

平成21.1.8 脳血管障害(2) 脳梗塞各論 3年 大星博明

平成21.1.13 脳血管障害(3) 脳出血各論ほか 3年 鴨打正浩

大学院医学系学府講義

平成21.1.20 脳血管疾患のEBM構築 北園孝成

大学院薬学系学府講義

平成20.12.1 Neurovascular Unit を標的とした脳梗塞治療 大星博明

医学部保健学科

平成20.12.8 脳卒中を診断する～超音波検査の進歩～ 2年 鴨打正浩

③研究費（平成20年度）

センダイウイルスベクターを用いた脳微小血管構築を標的とする脳梗塞遺伝子治療の研究（文部科学省科学研究費） 大星博明 2,210,000

脳血管ペリサイトのストレス応答における細胞内情報伝達機構に関する研究（文部科学省科学研究費） 鴨打正浩 910,000

④人事（平成20年4月2日～平成21年4月1日）

1) 主要転入・転出者

大星博明 昭和59 講師→福岡歯科大学内科学教授 20.4.1

渡邊義将 平成2 名古屋市大学薬理学助教→誠愛リハビリテーション病院 20.6.1

太田一樹 平成2 独国マールブルグ・フィリップ大学→吉塚林病院

21. 4. 1

久留島秀朗 平成 9 米国ジョーンズ・ホプキンス大学→吉塚林病院
20. 9. 1→福岡歯科大学内科学助教 21. 4. 1

脇坂義信 平成 9 米国アイオワ大学→福岡赤十字病院 21. 4. 1

緒方利安 平成 9 九州医療センター→豪州メルボルン大学 21. 4. 1

桑城貴弘 平成 11 先進予防医療センター医員→救急部助教 21. 4. 1

2) 海外留学者 (平成 21 年 4 月 1 日現在)

平 08 黒田淳哉 米国ニュージャージー州立医科歯科大学心血管研究施設
H20. 3～

平 09 緒方利安 独国メルボルン大学脳卒中研究所 H21. 4～

⑤学位取得者 (平成 20 年 1 月～平成 20 年 12 月)

萩原のり子 (H20. 3. 25)

Polymorphisms in the lymphotoxin- α gene and the risk of ischemic stroke in Japanese population: The Fukuoka Stroke Registry and the Hisayama study. *Cerebrovasc Dis* 25: 417-422, 2008